

## 第4章 2022年の北朝鮮経済（総合）

三村 光弘

### はじめに

2022年の北朝鮮経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応した特別防疫体制の継続と5月からの感染の拡大など厳しい経済状況の中、国民生活をいかに向上させるのかに注目しながら展開してきた。COVID-19に対する特別防疫体制は、COVID-19そのものの拡散を防ぐ目的のほか、苦しい経済状況の中で、不満が高まりがちな国民をうまく統合することも重要な目的とされてきたとも言える。

本章では、2022年の北朝鮮経済を概観し、COVID-19の感染拡散と収束の状況、中朝貿易を中心とする対外経済関係の状況を明らかにしつつ、今後の動向の方向性とそれが日本にもたらす影響について分析することを目的とする。

### 1. 総合

#### (1) 厳しい経済状況の中で、限られた資源を計画的に利用する方向性

2020年1月30日の特別防疫体制実施以来、北朝鮮の社会は「見えない敵」と戦う準戦時体制となっていると言っても過言ではない。行政区画を越えた移動や私的な経済活動は、平時においては制限が緩やかであったが、現在は再び統制が強化されてきているようである<sup>1</sup>。北朝鮮には生産手段の社会的所有に基づく、国営企業や協同団体が正統な企業であり、自営業や事実上の民間企業はあくまでこれらの補助ないしは必要悪であり、国家が国民生活をしっかりと支えることが本来の国家の使命であるという考え方が根強い。

2012年から16年頃までの経済が比較的好調であった時期には、企業に相対的な自主権を与えることで経済が活性化されたし、国連安保理決議による国際的制裁の強化で成長が鈍化した17年～18年にも社会主義企業責任管理制にもとづく各種措置が社会の各所に浸透することで人々の考え方に大きな変化をもたらした。各機関、企業の内外で、競争が激化し、能力があり、目端が利く者にとっては機会が増加したが、既存の秩序を守る、真面目が取り柄な人々にとっては、あまりにも社会が弱肉強食の原理に支配されるようになったと感じられたかもしれない。

皮肉にも社会主義企業責任管理制が憲法に書き込まれた19年以降北朝鮮は保守化の傾向を強めているようである。これは、12年以降の経済改革の反動ないしは揺り戻しと解釈することができよう。これまでの変化を総括し、問題点をあぶり出し、再び前進するまでには少し時間がかかるかもしれない。しかし、金正恩時代の変化、特に経済の相対的自由化とその果実としての経済成長を知った北朝鮮国民にとって、全く代償のないかたちで経済的自由を剥奪されることは耐えがたいであろう。したがって、現在の揺り戻しは、これまでの変化に付いていけなかった「弱者」を保護する施策をとまなうことになるであろう。所得再分配が機能する形で統制強化が進められるとすれば、それ自体が改革の痛みを和らげ、次の段階に進むための準備と位置づけることができるかもしれない。

2022年の北朝鮮は、2018年から続く国連安保理決議による国際的制裁を中心とする厳しい制裁に加え、2022年1月末からのCOVID-19に対する特別防疫体制にとまなう国境の

封鎖により、第3項で説明するとおり、輸出入が大きく減少した。国家予算についても、2022年2月8日付『労働新聞』によれば、最高人民会議第14期第6回会議で行われた予算報告で2021年の歳入は対予算比0.2%増で執行され、対前年比1.1%成長し、歳出は対予算比99.9%執行されたとしている。22年の歳入は対前年比0.8%の成長、歳出は対前年比で1.1%増となっている。2018年の予算は対前年比4.6%増、19年は対前年比5.3%増、20年は対前年比4.3%増となったのと比較すると、経済の減速を推測させるものとなっている。

経済の外延的拡大とそれによる活性化が望めない状況の中で、中央政府が管理する機関や企業では限られた資源を計画的に利用し、国家計画を達成することが重視されるようになってきている<sup>2</sup>。他方、地方政府が管理する機関においては、2021年末に開催された朝鮮労働党中央委員会第8期第4回総会で、地方予算制の強化が決議されたように、「地方の責任性と創意性を高めて地方の暮らしと国の全般的暮らしを立派に整えること」<sup>3</sup>が重視されている。地方の産業は、当地の住民生活に直結するものが多いと考えられるが、地方政府の仕事として、当地の住民の生活を向上させることが非常に重視される流れの中で、各地方政府はお互いに競争せざるを得ない状況になっていると言える<sup>4</sup>。少なくとも幹部にとつては、気の休まらない時代になったと言えよう。

## （2）経済改革は現実的な問題から着手

金正恩時代になってから続いている「経済管理の改善」すなわち経済改革については、2017年の制裁強化の後、18年から貿易、特に輸出の大幅な減少に伴い、輸出の振興と輸入物資の導入を通じた経済の外延的拡大が難しくなる中で、生産の数量的増加を目指した改革措置よりも、限られた資源をいかに有効に活用し、必要な生産物を得るかということが重要になっていった。国営企業の活動に対する評価も、利潤を上げて、従業員の生活を保障しつつ拡大再生産を行うことから、国家計画を完遂することに重要性が移っていった。各企業が自らの利潤のために国家計画を完遂しないような問題に対しては、「機関本位主義」「非社会主義」として指弾されることが増えているようである。2019年には15件であった朝鮮労働党機関紙『労働新聞』や内閣機関紙『民主朝鮮』に掲載された「非社会主義」と「反社会主義」というキーワードが含まれた記事が、2020年には41件、21年には86件、22年には76件と増加していることもこのような流れを象徴している。

現在は、国家行政システム全体の最適化をはじめとして、目の前の問題の解決を阻害する制度や慣行の改善に力を入れるようになるという変化が見られる。例えば、2022年の『労働新聞』や『民主朝鮮』の記事を見ると、2019年の憲法改正で第33条に取れ入れられた「社会主義企業責任管理制」を含む記事は『労働新聞』4件、『民主朝鮮』3件の合計7件にとどまり、2021年と20年の合計14件よりは少ない。しかし、経済改革を意味する「経済管理改善」についての記事は、『労働新聞』26件、『民主朝鮮』34件、合計60件とそれなりに多く、その多くは国民生活を実質的に改善するために必要とされる各種制度的改善についてのものである。

社会科学院が発行する雑誌に掲載された、行政手続におけるワンストップサービスの導入についての研究論文<sup>5</sup>ではその導入が「第8回党大会が提示した整備戦略・補強戦略」の一環であるとしつつ、許認可に関連する「機関、企業所、団体、個別的公民と、各級行

政経済機関との間で行なわれる手続・承認業務」においてまずこのようなサービスを導入すべきであるとしている。また、方法としてはオンライン申請も当然に想定されており、情報技術を活用した行政が志向されている。

商品経済が浸透し、貨幣の重要性が高まっている北朝鮮社会の現状に制度を合わせる動き、例えば中小企業の許容など、生産手段の私有化の検討などは休止しているものの、これまで政府機関や専門の国営企業の中で規制されてきた生産や販売に関連するさまざまな許認可類を、個人や協同団体、副業として業務を行う国営企業などにも親しみやすいように変化させる動きは、北朝鮮社会における生産やサービスの担い手の多様化を反映したものである。

## 2. 北朝鮮における COVID-19 の拡散と収束

### (1) 大量感染の確認

2022年5月12日付『労働新聞』によれば、同日朝鮮労働党中央委員会第8期第8回政治局会議が招集され、金正恩総書記の司会の下、6月上旬に党中央委員会第8期第5回総会を招集することと、「防疫危機状況に対処するための問題」が討議された。この場で、政治局は「去る5月8日、首都のある団体の複数の有熱者から採集した検体に対する厳格な遺伝子配列分析の結果を審議し、最近、世界的に急速に拡散しているオミクロン変異株『BA.2』と一致すると結論した」と COVID-19 患者が出たことを初めて認めた。そして、国家防疫活動を最大非常防疫体系へと移行することに関する朝鮮労働党中央委員会政治局決定書が採択された。

具体的には「全国のすべての市、郡で、自分の地域を徹底的に封鎖し、事業単位、生産単位、生活単位別に隔離した状態で事業と生産活動を組織して、悪性ウイルスの拡散空間を隙間なく完璧に遮断する」ことが決定された。金正恩総書記は「今われわれにとって悪性ウイルスより更に危険な敵は、非科学的な恐怖と信念不足、意志薄弱である」とし、断固たる措置をとることにより、社会の混乱を抑えるようにすることを強調した。この会議は未明に行われ、同日付の新聞で報道されるなど、朝鮮労働党が危機に対して緊張感を持って臨んでいることを感じさせるものであった。

翌13日付『労働新聞』は、金正恩総書記が12日に国家非常防疫司令部を訪問したことを報道しており、ここで初めて「有熱者」という表現で COVID-19 に罹患した可能性のある人々の数が報道された。北朝鮮では PCR 検査を今のところ積極的には行っておらず、4月末からの死者6名のうち、確定診断が出たのは1名としている。

同月14日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党中央委員会政治局は最大非常防疫体系の稼働実態を点検し、政治実務的対策を補強するために、同日、党中央委員会本部庁舎で協議会を招集した。この協議会は、同月15日、21日、29日にもそれぞれ開かれており、COVID-19 の拡散状況を中心に国政の重要議題について状況の把握と意見交換が行われた。

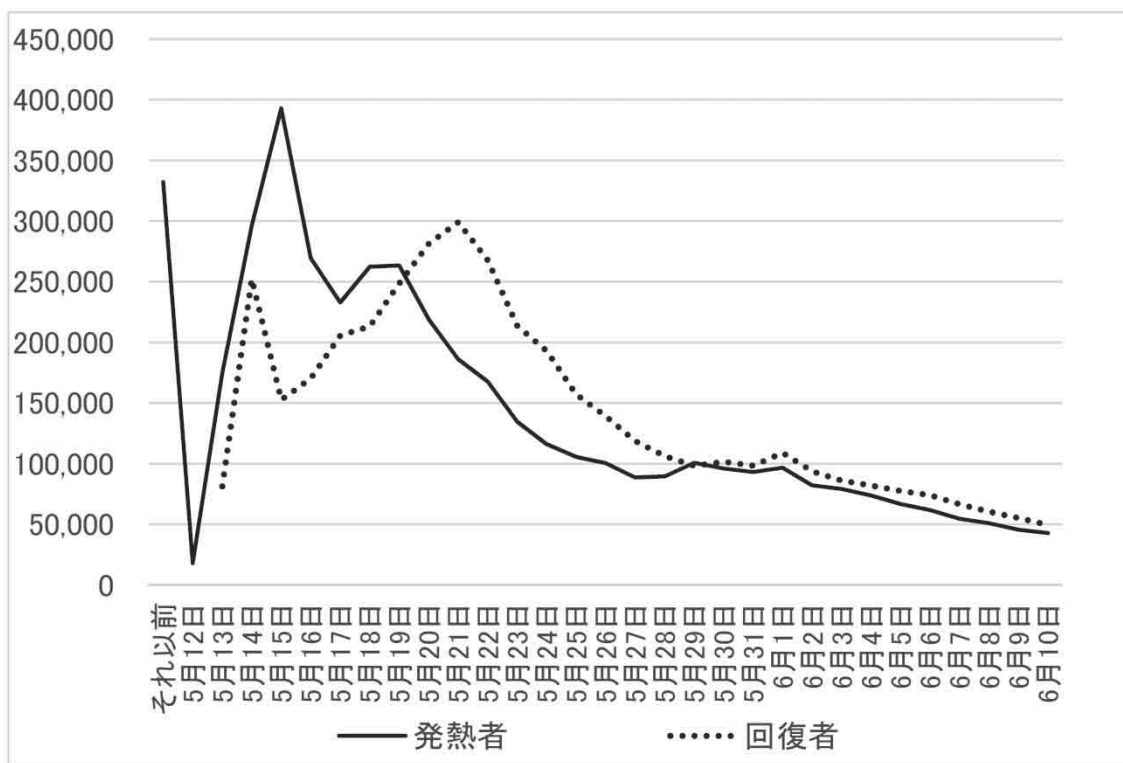
### (2) 感染拡大の状況

感染状況は『朝鮮中央通信』を通じて、対外的に公表されているほか、国内向けには朝鮮労働党機関紙『労働新聞』や政府機関紙『民主朝鮮』に「有熱者」「全快者」「死者」「治療を受けている人」の数が指標としてそれぞれ報告されている。また、『朝鮮中央テレビ』

のニュースでは、各道、直轄市、特別市別の新規「有熱者」の数も報道されていたようである。

図1を見ると「発熱者」は5月15日の40万人弱をピークに一貫して下がり続けている。発表を開始したのが5月12日であったことを勘案すると、国民向けに公表したのは発熱者のピークアウトの可能性が高くなってきた後、ということになるだろう。韓国の感染者数が2022年3月17日に62万人<sup>6</sup>を超えてからは減少したのと同じようなカーブをこの頃に描いていたのではないかと想像する<sup>7</sup>。

図1 2022年5月～6月10日までの北朝鮮の発熱者および回復者の数

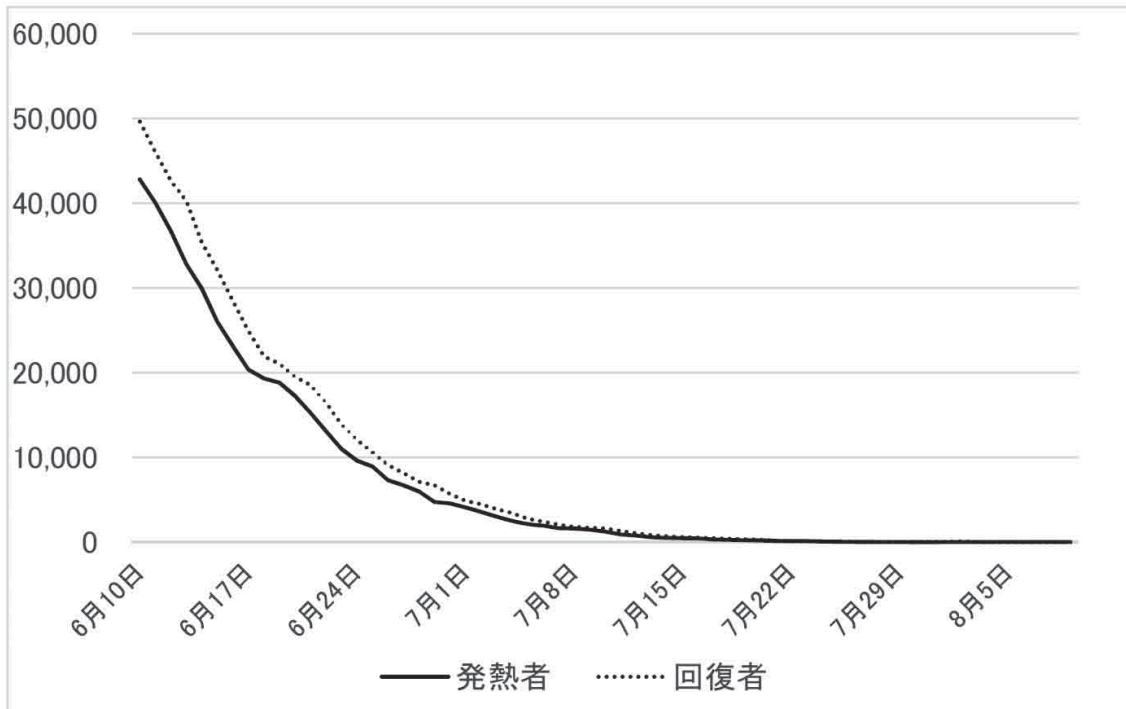


(出所)『朝鮮中央通信』の報道から筆者作成

北朝鮮では、今年3月末まで『労働新聞』で韓国のCOVID-19感染状況を毎日つぶさに報道していたが、4月に入り報道の頻度が落ちた。北朝鮮の人々は韓国で1日60万人以上の人々が確診者となった状況を国内報道を通じて知っているの、それほどのパニックには陥らなかったものと思われる。

図2のように、6月に入ると発熱者よりも回復者の方が多いう状況が続き、7月に入った段階では収束が見えてきた状況になった。7月末で、ほぼ第1波は収束し、8月9日に毎日の報道自体が停止した。今後、Ba.4やBa.5の変異種が中国経由で流入することも予想されるが、国民はCOVID-19が基本的に克服可能な病気であること認識しており、死者数も公式には74名<sup>8</sup>のため、大きな社会的不安にはならない可能性が高い。ただし、5月12日から1週間ほどの報道には、やみくもに薬を服用することを諫める記事もあり、経済的に余裕のある層を中心に一定の混乱があったことを示唆している<sup>9</sup>。

図2 2022年6月10日～8月9日までの北朝鮮の発熱者および回復者の数



(出所)『朝鮮中央通信』の報道から筆者作成

この流行の原因について、2022年7月1日付『労働新聞』は「国家非常防疫司令部、悪性ウイルスのわが国への流入経路を科学的に解明」という記事を掲載した。同記事によれば、「4月中旬頃、江原道金剛郡伊布里地域から首都に上京していた数名の人員の中で発熱症状が現れはじめた」とし、韓国との軍事境界線に近い、江原道の「金剛郡伊布里が悪性伝染病の最初の発生地域」であるとしている。また、「伊布里で軍人キム某（18歳）と幼稚園生ウィ某（5歳）が兵営と住民地周辺の小高い山で目新しい物と接触した」ことが流行の端緒となったとしている。この目新しいものとは、「風船にぶらさがって飛んできた目新しい物」とされていることから、韓国の民間団体が飛ばしたビラ風船のことであろう。

### (3) 防疫の「成功」と「全国非常防疫総括会議」の開催

2022年8月11日付『労働新聞』によれば、同月10日、平壤市で「全国非常防疫総括会議」が行われ、金正恩総書記が「防疫戦争での勝利を強固にし、国家と人民の安全をいっそう確実に保障しよう」と題する演説を行った。この演説は、北朝鮮がCOVID-19とのたたかいに基本的に勝利したとの内容であった。この演説では北朝鮮が置かれていた状況を「防疫基盤と保健医療土台が脆弱で防疫経験もない状況」と表現し、防疫の成功は、「わが党の防疫政策の勝利であり、わが国家の危機対応戦略の勝利であり、わが人民特有の強靭さと一心団結の勝利であり、朝鮮式社会主義の制度的優位性によってもたらされた」ものであると主張している。また、この演説の中では、北朝鮮ではワクチン接種を1回も実施していないことや、保健医療の物質的・技術的土台は弱いものの、医療サービスシステムの効率的稼働により、問題が解決できたことなどが触れられている。そして、教訓としては、防疫活動が長期化するほど些細な気の弛みや放念も許すことなく、高度の緊張を堅持すべ

きであるということ、もう一つはどんな代価を払っても国家危機対応能力、防疫能力建設を手抜きなく進めるべきであると指摘している。

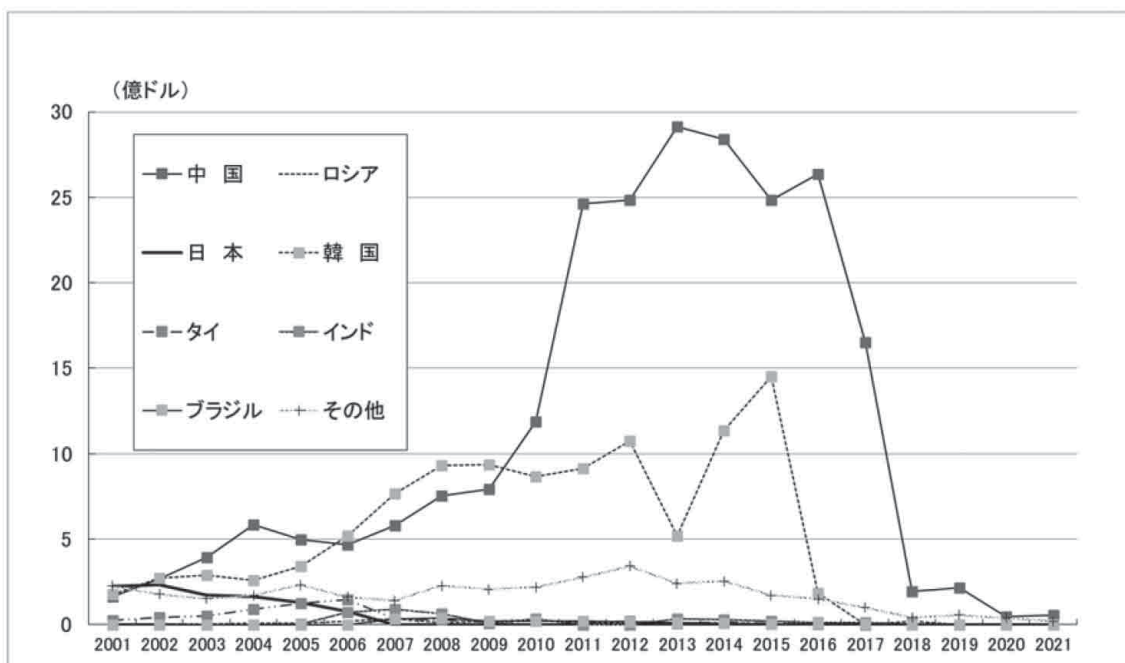
#### (4) ワクチン接種の動向

一方、ワクチン接種については、全国非常防疫総括会議では特に触れられていなかったが、2022年9月8日の最高人民会議第14期第7回会議での金正恩国務委員長の施政演説<sup>10</sup>では、「ワクチン接種を責任を持って実施する」との発言があった。2022年11月23日付『労働新聞』は「新型コロナウイルス不活性化ワクチンが重症感染により効果的に対処できる」との記事を掲載し、mRNAワクチンよりも不活化ワクチンの方が重症化を防ぐ効果に優れていると主張している<sup>11</sup>。また、2022年12月14日付『労働新聞』には、ワクチン接種者のCOVID-19の症状の特徴を「ロシアのあるウェブサイト」が伝えたとしつつ、ワクチンを2回接種しても感染する事例があることを伝えている。これらを総合すると、北朝鮮は全国民を対象としたワクチン接種を行わない可能性があり、もしワクチン接種を行う場合も不活化ワクチンを採用する可能性が高いといえよう。

### 3. 対外貿易—中朝貿易を中心に

2022年の北朝鮮の対外貿易については、執筆時に10月までの中朝貿易のデータが入手可能であった。図3の北朝鮮の国別輸出額、図4の北朝鮮の国別輸入額を見ると、2016年の開城工業団地の稼働停止後は、輸出入ともに中国が圧倒的な比率を占めることが分かる。

図3 北朝鮮の国別輸出額（2001～21年）



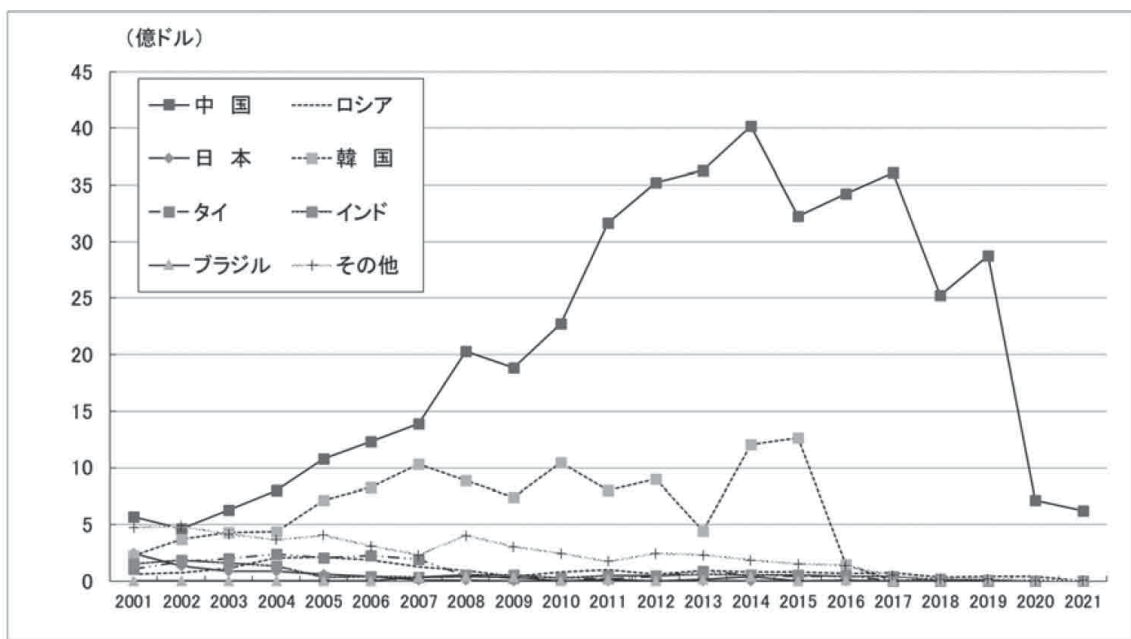
（出所）環日本海経済研究所『北東アジア経済データブック 2022』、2022

図3で2001年からの北朝鮮の輸出の数値を見てみると、金正恩時代の始まる直前の2011年から北朝鮮の輸出額が急増していることが分かる。これは石炭の輸出、その後には

その他の鉱物類や水産物、委託加工の衣料品輸出が急増したことによるものであり、2017年から国連安保理決議による国際的制裁によりこれらの品目の取引が制限されるに至り、激減している。2020年以降はCOVID-19の拡散にともなう国境の封鎖により、船舶による輸送しかできなくなり、22年はそれに加え、1月～4月、8月以降に鉄道による輸送が復活した。しかし、中朝貿易の多くの品目の輸送を支えた自動車輸送は未だ回復しておらず、中朝貿易額が復活しない要因となっている。今後、中朝国境の封鎖が解かれるとすれば、まずはトラックによる物流の復活と、中国駐在の貿易会社の社員など対外経済関係を支える人々の流れがまずは復活するであろう。

図4は北朝鮮の国別輸入額であるが、北朝鮮は中国から生産財、中間財のほか、国民の生活に必要な多くの消費財を輸入していることから、制裁の影響は輸出ほど出ていない。とは言え、2020年以降は輸入額も急減している。これは北朝鮮国民の生活になくてはならない衣類や繊維類、大豆油をはじめとする食用油、洗剤などが輸入できなくなっていることを意味する。2020年1月末の特別防疫体制の開始以来、まもなく3年になろうとしているが、本質的な変化はまだないのが現状である。

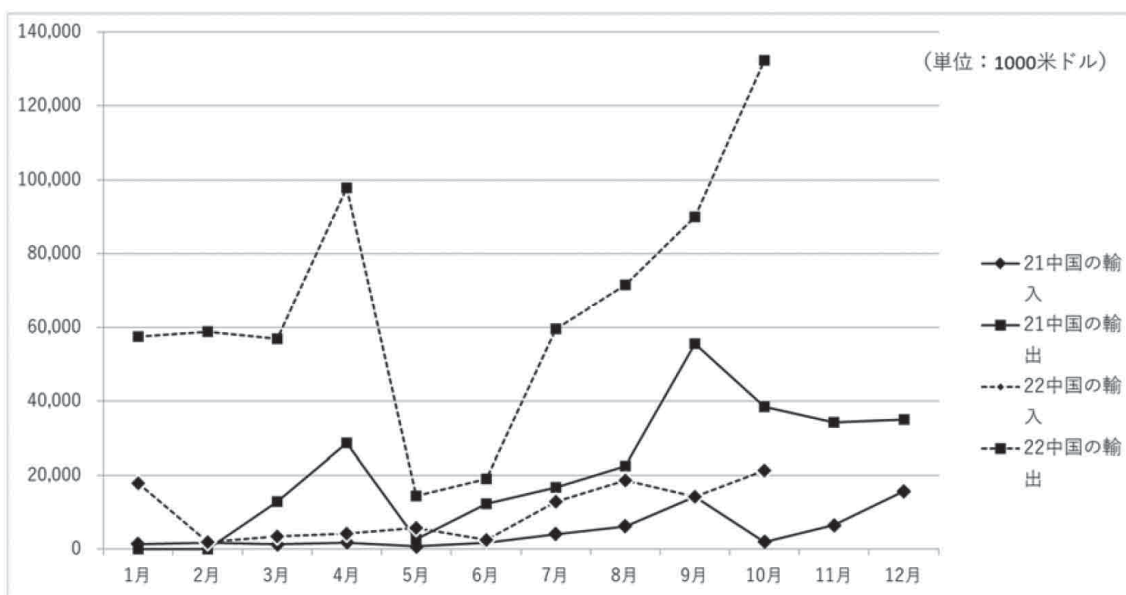
図4 北朝鮮の国別輸入額（2001～21年）



（出所）環日本海経済研究所『北東アジア経済データブック 2022』、2022

図5は2021年と22年1月～10月の中国の貿易統計に表れた北朝鮮との貿易である。実線が2021年の数値、点線が22年の数値となる。22年に入って、中国の輸出、すなわち北朝鮮の輸入が増加していることが見て取れる。中朝間の鉄道輸送は、2022年1月17日～4月28日と同年9月26日以降に行われている。7月～9月は鉄道輸送がなかったにもかかわらず、北朝鮮の対中輸入が増加している。鉄道輸送が復活した10月には対中輸入がさらに増加している。とはいえ、2019年以前の水準とは比べものにならないくらい低いレベルでの「急激な増加」であることは押さえておく必要がある。

図5 2021年と22年1月～10月の中朝貿易（中国基準）



（出所）中国海関総署

表1、表2はそれぞれ、2021年の中国の対北朝鮮輸入金額トップ15品目と対中輸出金額トップ20品目である。なお、中国からパイプラインを通じて北朝鮮に送られる原油の数値は、2014年から貿易統計に掲載されなくなった。また、ガソリンや軽油といった石油製品は非公式貿易で取引されているせいか、貿易統計には計上されていない。中朝貿易が極端に少ないこの時期、北朝鮮が中国に輸出していたのは製鉄原料のフェロシリコン（珪化鉄）や電力（中朝国境の水豊発電所の北朝鮮が権利を持つ発電機の発電分）、委託加工と思われる時計のムーブメント、生糸、鉱石類、楽器、かつらとなっている。逆に北朝鮮の輸入には、喫煙用たばこ、タバコの葉、アセテートのトウ（タバコのフィルタの材料）が上位に入っている。その次にリン酸肥料、タイヤ、医薬品、尿素肥料、生ゴム、プラスチックや合成繊維、大豆、大豆油、砂糖、石けん、脱脂粉乳、パーム油、アスファルトなどとなっている。この程度の輸入量では北朝鮮国内の需要をまかなうことはできない少量である。

表1 2021年の中国の対北朝鮮輸入金額トップ15品目

| 順位 | HSコード    | 品名                           | 金額（米ドル）    |
|----|----------|------------------------------|------------|
| 1  | 72022100 | フェロシリコン（けい素の含有量が全重量の55%を超える） | 26,816,053 |
| 2  | 27160000 | 電力                           | 16,941,553 |
| 3  | 91081100 | アナログ電気式ウォッチムーブメント            | 3,600,568  |
| 4  | 50020019 | 生糸                           | 2,719,985  |
| 5  | 11051000 | ばれいしょの粉及びミール                 | 2,517,525  |
| 6  | 31043000 | 硫酸カリウム                       | 1,778,000  |
| 7  | 28492000 | けい素炭化物                       | 1,082,382  |
| 8  | 50030099 | 絹のくず                         | 1,028,292  |



| 順位 | HSコード    | 品名                                      | 金額（米ドル） |
|----|----------|---|---------|
| 9  | 26110000 | タングステン鉱およびその精鉱                          | 604,133 |
| 10 | 92059020 | アコーディオンその他これに類する楽器                      | 441,324 |
| 11 | 67042000 | 人髪製のかつら、付けひげ、付け眉毛、付けまつげ、かもしその他これらに類する物品 | 355,602 |
| 12 | 22030000 | ビール                                     | 66,834  |
| 13 | 22089020 | 焼酎                                      | 48,456  |
| 14 | 69091100 | 磁器製の理化学用その他の技術的用途に供する物品                 | 44,961  |
| 15 | 98050000 | 個人のeコマース商品                              | 23,784  |

（出所）中国海関総署

表2 2021年の中国の対北朝鮮輸出金額トップ20品目

| 順位 | HSコード    | 品名                   | 金額（米ドル）    |
|----|----------|----------------------|------------|
| 1  | 24031900 | 喫煙用たばこ               | 16,446,187 |
| 2  | 31053000 | オルトリン酸水素二アンモニウム      | 13,025,333 |
| 3  | 40112000 | バスまたはトラック用タイヤ        | 12,424,437 |
| 4  | 30049090 | 医薬品                  | 11,512,070 |
| 5  | 31021000 | 尿素                   | 11,167,000 |
| 6  | 40012100 | スモークドシート（生ゴム）        | 9,816,122  |
| 7  | 28362000 | 炭酸二ナトリウム             | 8,123,998  |
| 8  | 39201090 | ポリエチレンの板、シート、フィルム等   | 6,087,988  |
| 9  | 12019010 | 黄白色系の大豆（種用ではない）      | 5,903,798  |
| 10 | 15079000 | 大豆油                  | 5,803,682  |
| 11 | 39011000 | 比重が0.94未満のポリエチレン     | 5,673,778  |
| 12 | 55032000 | ポリエステル短繊維            | 5,547,052  |
| 13 | 17019910 | 砂糖                   | 4,686,756  |
| 14 | 24012090 | タバコ（骨を一部または全部のぞいたもの） | 4,475,550  |
| 15 | 34012000 | 石けん                  | 4,435,401  |
| 16 | 4021000  | 粉乳（脂肪分1.5%以下）        | 4,396,544  |
| 17 | 15119090 | パーム油                 | 4,155,828  |
| 18 | 27132000 | 石油アスファルト             | 3,910,285  |
| 19 | 39021000 | ポリプロピレン              | 3,455,567  |
| 20 | 55021010 | アセテートのトウ（タバコのフィルタ）   | 3,410,974  |

（出所）中国海関総署

これらの貨物は、鉄道もトラックも運行していない状況で、主として船舶によって運ばれたと推定される。トラックが主となってきた中朝間の様々な貨物の輸送を船舶によって代替することはかなり難しく、中国側にもゼロコロナ政策の実施にともなう様々な制約があったため、2021年の中朝貿易は輸出入とも相当低位で推移した。

表3は、2022年1月～10月の中国の対北朝鮮輸入（北朝鮮の輸出）金額トップ30品目である。2021年にはトップ15品目にはなかったタングステン鉱（鉱石）が1位となっており、2位と19位にフェロシリコン、3位に電力、4位にモリブデン鉱、5位と8位、20位に生糸とそのくず、6位に板ガラス、7位にけい素炭化物、9位にかつら、10位に時計のムーブメントが入っている。制裁対象に該当しない品目を選んで輸出や委託加工を行っているさまが見て取れる。板ガラスは中国の支援でできた大安親善ガラス工場の製品と考えられる。元々、生産のうち多くの部分を輸出に回してきた<sup>12</sup>。

表3 2022年1月～10月の中国の対北朝鮮輸入金額トップ30品目

| 順位 | HSコード    | 商品名称                                    | 第1数量        | 第1計量単位 | 第2数量      | 第2計量単位 | 金額<br>(米ドル) |
|----|----------|---|-------------|--------|-----------|--------|-------------|
| 1  | 26110000 | タングステン鉱（精鉱を含む。）                         | 2,169,276   | キロ     |           | —      | 23,900,063  |
| 2  | 72022100 | けい素の含有量が全重量の55%を超えるフェロシリコン              | 27,856,820  | キロ     |           | —      | 20,368,578  |
| 3  | 27160000 | 電力                                      | 424,638,823 | KWh    |           | —      | 16,990,656  |
| 4  | 26139000 | モリブデン鉱（精鉱を含む。）                          | 1,144,090   | キロ     |           | —      | 11,459,931  |
| 5  | 50020019 | 生糸                                      | 861,560     | キロ     |           | —      | 8,690,982   |
| 6  | 70052900 | 金属の線又は網を入れてないその他のフロート板ガラス及び磨き板ガラス       | 27,462,100  | キロ     | 3,202,957 | 平方メートル | 5,719,076   |
| 7  | 28492000 | けい素炭化物                                  | 7,623,271   | キロ     |           | —      | 3,592,747   |
| 8  | 50030099 | 絹のくず（その他のもの）                            | 669,165     | キロ     |           | —      | 2,856,084   |
| 9  | 67042000 | 人髪製のかつら、付けひげ、付け眉毛、付けまつげ、かもじその他これらに類する物品 | 9,124       | キロ     |           | —      | 2,464,841   |
| 10 | 91081100 | 電気式アナログウォッチムーブメント                       | 12,290,000  | 個      | 13,479    | キロ     | 1,788,561   |
| 11 | 31043000 | 硫酸カリウム（肥料）                              | 2,295,000   | キロ     |           | —      | 803,250     |
| 12 | 72061000 | 鉄又は非合金鋼のインゴット                           | 1,868,700   | キロ     |           | —      | 790,662     |
| 13 | 90230010 | カットウィッグ                                 | 13,680      | キロ     |           | —      | 601,006     |
| 14 | 86072100 | 鉄道用又は軌道用の機関車又は車両のエアブレーキ及びその部分品          | 75,125      | キロ     |           | —      | 504,000     |
| 15 | 38019090 | 黒鉛その他の炭素をもととした調製品                       | 2,888,850   | キロ     |           | —      | 433,328     |
| 16 | 92059020 | アコーディオンその他これに類する楽器                      | 3,378       | 個      | 25,804    | キロ     | 387,851     |
| 17 | 33012999 | 精油（かんきつ類の果実のものを除く。）                     | 20,900      | キロ     |           | —      | 364,529     |
| 18 | 30049090 | 医薬品                                     | 5,600       | キロ     |           | —      | 280,000     |
| 19 | 72022900 | けい素の含有量が全重量の55%以下のフェロシリコン               | 550,000     | キロ     |           | —      | 275,000     |

| 順位 | HSコード    | 商品名称  | 第1数量    | 第1計量単位 | 第2数量   | 第2計量単位 | 金額<br>(米ドル) |
|----|----------|---|---------|--------|--------|--------|-------------|
| 20 | 50030019 | 絹のくず（カード及びコームのい<br>ずれもしてないもの）   | 59,525  | キロ     |        | —      | 256,492     |
| 21 | 95066210 | 空気入れ式のサッカー、バスケット、<br>バレーボール   | 289,087 | 個      | 30,870 | キロ     | 202,141     |
| 22 | 67021000 | プラスチック製の人造の花、葉及<br>び果実並びにこれらの部分品及び<br>製品                              | 33,024  | キロ     |        | —      | 109,671     |
| 23 | 67041900 | 合成繊維材料製のかつら、付けひ<br>げ、付け眉毛、付けまつげ、かも<br>じその他これらに類する物品（完<br>成品のかつらでないもの） | 26,749  | キロ     |        | —      | 106,951     |
| 24 | 67041100 | 合成繊維材料製のかつら（完成品）  | 4,760   | キロ     |        | —      | 95,200      |
| 25 | 38021090 | その他の活性炭   | 400,000 | キロ     |        | —      | 72,000      |
| 26 | 31059090 | その他の肥料成分（窒素、りん及<br>びカリウム）のうち二以上を含有<br>する肥料                            | 15,000  | キロ     |        | —      | 69,000      |
| 27 | 95072000 | 釣針（はりすを付けてあるかない<br>かを問わない。）   | 3,080   | キロ     |        | —      | 51,447      |
| 28 | 95030021 | 動物の人形   | 193,500 | 個      | 14,970 | キロ     | 48,375      |
| 29 | 46021910 | その他の植物性材料のかご細工<br>物、枝条細工物その他の製品                                       | 6,520   | キロ     |        | —      | 31,816      |
| 30 | 39139000 | 天然の重合体及び変性させた天然<br>の重合体の一次製品  | 8,700   | キロ     |        | —      | 24,012      |

（出所）中国海関総署

表4は2022年1月～10月の中国の対北朝鮮輸出（北朝鮮の輸入）金額トップ50品目である。1位に大豆油が入っている。大豆油の比重は0.92程度なので、2,1010キロリットル程度となる。北朝鮮の人口一人当たり840ミリリットル程度の輸入量となる。この数値を1～10月の304日で割ると1日あたり2.76ミリリットルとなる。これまで輸入が行われず、国内の流通在庫や家庭での備蓄がなくなっていることを考えると、需要を十分にまかなっているとは言えないが、物流の制約を考慮すれば、それなりの量が輸入されていると言ってよいだろう。2位にバスやトラックのタイヤ（車両は制裁の対象）、3位に医薬品、4位に喫煙用タバコ、5位に砂糖、6位、15位、17位、24位、35位に合成樹脂、7位に小麦粉、8位に建築材料としての塩化ビニル樹脂製品、9位、14位、16位に合成繊維、10位に化学調味料、18位にコメ、19位に綿製品、20位に除草剤、26位に合成洗剤がランクインしている。

2021年の品目と比較すると、品目数が増加していることが第一の特徴である。品目の内訳を見ると、食料品や国民生活に必要な各種消費財の生産に必要な樹脂や繊維類のような原料、包装材料等の輸入のほか、自動車用のタイヤ、医薬品など、北朝鮮経済や国民生活を支える物資や商品が輸入されていることがわかる。

表4 2022年1月～10月の中国の対北朝鮮輸出金額トップ50品目

| 順位 | HSコード    | 商品名称   | 第1数量        | 第1計<br>量単位 | 第2数量      | 第2計<br>量単位 | 金額<br>(米ドル) |
|----|----------|--|-------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 1  | 15079000 | 大豆油  | 19,329,283  | キロ         |           | —          | 30,741,221  |
| 2  | 40112000 | バス又は貨物自動車用のゴム製空気タイヤ（新品）                                  | 14,381,995  | キロ         | 273,682   | 本          | 28,235,702  |
| 3  | 30049090 | 医薬品  | 8,543,249   | キロ         |           | —          | 19,402,510  |
| 4  | 24031900 | 喫煙用たばこ   | 3,106,690   | キロ         |           | —          | 18,987,975  |
| 5  | 17019910 | 砂糖   | 38,494,800  | キロ         |           | —          | 18,872,456  |
| 6  | 39201090 | ポリエチレンの板、シート、フィルム等                                       | 10,207,314  | キロ         |           | —          | 14,833,507  |
| 7  | 11010000 | 小麦粉またはメスリン粉  | 42,175,057  | キロ         |           | —          | 14,217,541  |
| 8  | 39181090 | 塩化ビニル製の床用敷物、壁紙、天井クロス                                     | 9,065,621   | キロ         |           | —          | 12,943,031  |
| 9  | 54076900 | ポリエステル製の長繊維が85%以上を占める織物                                  | 11,604,612  | メートル       | 2,428,566 | キロ         | 12,587,914  |
| 10 | 29224220 | グルタミン酸ナトリウム  | 9,309,900   | キロ         |           | —          | 11,644,140  |
| 11 | 28362000 | 炭酸二ナトリウム   | 29,783,677  | キロ         |           | —          | 11,017,665  |
| 12 | 24022000 | 紙巻きたばこ   | 338,284     | キロ         | 317,998   | 千本         | 10,902,586  |
| 13 | 24012090 | 全部又は一部の骨を除いたたばこ（の葉）                                      | 2,148,471   | キロ         |           | —          | 10,821,945  |
| 14 | 55032000 | ポリエステルの短繊維（加工をしていないもの）                                   | 9,517,098   | キロ         |           | —          | 10,557,856  |
| 15 | 63053300 | 包装に使用する種類の袋（ポリエチレン又はポリプロピレンのストリップ又はこれに類するものから製造したものに限る。） | 122,288,244 | 本          | 9,117,856 | キロ         | 10,301,301  |
| 16 | 60063200 | 浸染した合成繊維製のメリヤス編物及びクロセ編物                                  | 7,156,318   | メートル       | 2,152,772 | キロ         | 8,009,241   |
| 17 | 39011000 | 比重が0.94以下のポリエチレンの塊、粉、粒、フレーク                              | 5,008,500   | キロ         |           | —          | 7,982,720   |
| 18 | 10063020 | 長粒種の精米   | 16,450,000  | キロ         |           | —          | 7,302,500   |
| 19 | 60062200 | 浸染した綿製のメリヤス編物及びクロセ編物                                     | 3,350,945   | メートル       | 1,323,684 | キロ         | 7,277,075   |
| 20 | 38089319 | 小売包装でない除草剤   | 1,567,500   | キロ         |           | —          | 6,798,410   |
| 21 | 67042000 | 人髪製のかつら、付けひげ、付け眉毛、付けまつげ、かもしその他これらに類する物品                  | 29,212      | キロ         |           | —          | 6,615,345   |
| 22 | 34012000 | その他の形状の石鹼  | 6,082,700   | キロ         |           | —          | 6,292,305   |
| 23 | 40012100 | スモークドシート（生ゴム）  | 2,988,884   | キロ         |           | —          | 6,101,172   |
| 24 | 39202090 | ポリプロピレンの板、シート、フィルム等                                      | 2,989,966   | キロ         |           | —          | 5,870,868   |
| 25 | 10063080 | 中短粒種の精米  | 10,900,000  | キロ         |           | —          | 5,659,740   |

| 順位 | HSコード    | 商品名称                                    | 第1数量      | 第1計<br>量単位 | 第2数量      | 第2計<br>量単位 | 金額<br>(米ドル) |
|----|----------|---|-----------|------------|-----------|------------|-------------|
| 26 | 34025010 | 小売包装の合成洗剤粉                              | 7,580,207 | キロ         |           | —          | 5,648,058   |
| 27 | 15119090 | その他のパーム油及びその分別物                         | 5,678,283 | キロ         |           | —          | 5,597,074   |
| 28 | 40111000 | 乗用車のゴム製空気タイヤ（新品）                        | 1,697,231 | キロ         | 144,982   | 本          | 5,336,564   |
| 29 | 39012000 | 比重が0.94以上のポリエチレン                        | 3,954,375 | キロ         |           | —          | 4,906,678   |
| 30 | 15119010 | パームオイル（融点19℃～24℃）                       | 3,147,697 | キロ         |           | —          | 4,662,046   |
| 31 | 30045000 | ビタミン剤                                   | 474,032   | キロ         |           | —          | 4,437,352   |
| 32 | 48025500 | ロール状の紙（重量が1平方メートルにつき40グラム以上150グラム以下のもの） | 4,436,587 | キロ         |           | —          | 4,327,644   |
| 33 | 27101991 | 潤滑油（バイオディーゼルを含有しないもの）                   | 2,014,678 | キロ         | 2,269,028 | リットル       | 4,271,855   |
| 34 | 29251100 | サッカリン及びその塩                              | 559,575   | キロ         |           | —          | 4,167,358   |
| 35 | 39021000 | ポリプロピレンの塊、粉、粒、フレーク                      | 3,204,504 | キロ         |           | —          | 4,154,189   |
| 36 | 34029000 | その他の表面活性剤                               | 8,193,501 | キロ         |           | —          | 4,068,610   |
| 37 | 12019011 | その他の遺伝子組み換えでない大豆（播種用でないもの）              | 4,925,906 | キロ         |           | —          | 3,964,484   |
| 38 | 27132000 | 石油アスファルト                                | 6,038,523 | キロ         |           | —          | 3,813,631   |
| 39 | 44123300 | 合板、ベニヤドパネルその他これらに類する積層木材                | 3,888,766 | キロ         | 7,487     | 立方メートル     | 3,777,820   |
| 40 | 15071000 | 大豆粗油                                    | 2,185,282 | キロ         |           | —          | 3,483,405   |
| 41 | 31021000 | 尿素（水溶液にしてあるかないかを問わない。）                  | 6,800,000 | キロ         |           | —          | 3,453,891   |
| 42 | 21069090 | その他の調製食料品                               | 820,563   | キロ         |           | —          | 3,438,820   |
| 43 | 55021010 | アセテートのトウ（たばこのフィルター）                     | 703,978   | キロ         |           | —          | 3,177,527   |
| 44 | 30042090 | ペニシリン又はストレプトマイシン以外の抗生剤                  | 801,686   | キロ         |           | —          | 3,127,469   |
| 45 | 23040090 | 大豆油かす                                   | 5,496,613 | キロ         |           | —          | 3,035,719   |
| 46 | 33051000 | シャンプー                                   | 868,731   | キロ         |           | —          | 2,866,579   |
| 47 | 33059000 | その他の頭髮用の調製品                             | 701,326   | キロ         |           | —          | 2,847,184   |
| 48 | 69072190 | その他の舗装用品及び炉用又は壁用のタイル                    | 8,218,242 | キロ         | 488,093   | 平方メートル     | 2,807,109   |
| 49 | 39162090 | 塩化ビニルの単繊維で横断面の最大寸法が1ミリメートルを超えるもの        | 2,178,396 | キロ         |           | —          | 2,594,489   |
| 50 | 27101993 | 潤滑油の基礎油（バイオディーゼルを含有しないもの）               | 2,125,777 | キロ         | 2,393,627 | リットル       | 2,584,397   |

(出所) 中国海関総署

#### 4. 日本にもたらす影響

2020年1月30日の特別防疫体制の開始以来続いてきた感染者ゼロの主張を続ける「ゼロコロナ政策」が5月初旬のCOVID-19感染者の国内における拡散において事実上修正され、多くの北朝鮮国民が当初よりは弱毒化したとはいえ身をもってCOVID-19に触れ、「ウィズコロナ」へと事実上移行した。7月～10月の鉄道輸送が復活していない段階で中朝貿易が増加したのはこの影響であろう。「ウィズコロナ」への移行は、これまでCOVID-19に対する防疫措置を社会統制に利用できた時期が終了することを意味する。2023年の北朝鮮は、農業、軽工業、サービス業をはじめ、国民生活と直接かかわる部門の振興を通じ、疲弊した国民生活を回復させることを試みるであろう。これは北朝鮮政府や朝鮮労働党が国民からの支持を得て、正統性を維持できるかどうかにつながる、極めて重要な課題となる。

他方、北朝鮮は米国や韓国との緊張関係を解決できずにいる。その中で、日米韓が対北朝鮮で結束したり、日本が国防力を強化したりすることは、北朝鮮にとっては日本が北朝鮮に対してより強硬かつ非友好的な態度を取っていると感じられるであろう。それゆえ、23年の北朝鮮の日本に対する対応はこれまで以上に強硬になる可能性がある。

とはいえ、北朝鮮経済は3年にわたるCOVID-19への対応、特に中朝国境の封鎖によりかなり疲弊している。経済を回復させるためには米国や韓国との関係を改善することも有用な手段であり、北朝鮮が近い将来、自国を（核拡散防止条約上の法的地位としてではなく）事実上の核保有国であることを米国が認めることを条件として、対話路線に転ずる可能性は十分にある。米国が自国に対する攻撃能力を対話により放棄させることを目的として、対話戦略として北朝鮮の言説を一旦は認めた「ふり」をすることもあるかもしれない。

北朝鮮は中国やロシアとの関係を強化し、両国に守られる形で一定水準までの経済成長を目指す可能性が以前よりも高くなってきたとはいえ、米国や日本との関係改善を通じて、自国の経済を成長させる方向性を完全に放棄したわけではない。日本は北朝鮮にとって隣国であり、以前のような経済関係を回復させることは北朝鮮にとってもメリットが大きい。したがって北朝鮮の軍事的な挑発に対しては毅然とした態度を取りながらも、米朝関係、南北関係が進展した際に、日本としてどのような対応をするかについて、常にプランを検討しておく必要があるだろう。

日本が戦後、韓国や台湾、東南アジア諸国、中国に対して行った経済協力は、結果として東アジア地域が世界の成長センターとなる基礎になった。北朝鮮が将来的に安定した経済を持ち、国民生活のレベルを向上させ、穏健な地域のメンバーとなれば、日本の安全保障環境の改善にもつながる。日本としてどのような段階でどのような協力、支援ができるのかを、常に考えていく必要があるだろう。

#### むすび

本章では、2022年の北朝鮮経済を概観し、COVID-19の感染拡散と収束の状況、中朝貿易を中心とする対外経済関係の状況を解説しつつ、北朝鮮経済が置かれている現状を明らかにした。2023年は中国の対応にも影響されるが、おそらく北朝鮮にとってCOVID-19の影響から脱し、経済を正常化していく方向性を見せる年になるのではないかと。北朝鮮の体制は、金正恩時代に入り、しだいに国民生活の向上をその正統化の根拠とするようになってきている。世論の支持なく、朝鮮労働党や北朝鮮政府の恣意的な判断で国家を運営する

ことはできなくなりつつある。国民生活が実質的に改善することが北朝鮮国民の願いである以上、北朝鮮は体制と自国の尊厳を守るための核武力建設とともに、国民生活の向上に力を注ぐことになるであろう。金正日時代の物差しで、金正恩時代を判断すれば、状況を見誤ることになる。

北朝鮮にとって、日本との関係改善は、米国との関係改善と同じく、冷戦終了時以来の念願である。北朝鮮が日本に対する敵意を捨て、国内的にも対外的にも安定した状況で推移していくことは、日本にとっても利益となる。北朝鮮が非核化の方向へと歩み出すことが前提となるが、日本がこれまで東アジアで培ってきた経済協力の経験を北朝鮮にも適用し、北朝鮮を穏健な地域のメンバーとする道を北朝鮮とともに考え、支えていくことも、日本が今後検討すべき課題であろう。

### 一注一

- 1 梁文秀「2022年の北韓経済評価と2023年の展望」『北韓経済レビュー』韓国開発研究院、2022年、24(12)、28頁。
- 2 例えば2022年2月22日付『民主朝鮮』に掲載された社説「今年度国家予算を成功裏に執行して経済発展と人民生活向上をしっかりと保障しよう」では財務活動に対する統一的管理の強化が重要視されている。
- 3 「地方予算制を強化するうえで提起される重要な要求」『民主朝鮮』2022年3月15日付。
- 4 「われらの地域とわれらの単位は人民生活向上のために今年の仕事をいかに展開しているのか」『労働新聞』2022年1月15日付。「市、郡の転変、国が繁栄する姿は用意周到な作戦から一地方建設の基準人民の要求と利益」『民主朝鮮』2022年1月16日付。
- 5 キム・チュンナム「行政手続および承認事業に集中取扱方法を取り入れる際に提起される重要問題」『社会科学院学報』2022年第2号、37～39頁。
- 6 金明中「韓国で1日あたりの新規感染者数が60万人を超えた理由」『Newsweek日本語版』2022年3月29日 [https://www.newsweekjapan.jp/kim\\_m/2022/03/60.php](https://www.newsweekjapan.jp/kim_m/2022/03/60.php)（最終アクセス2022年7月5日）
- 7 ただし韓国における感染者数の減少は、検査を受けて感染が確定した人に対する経済的インセンティブが減少したことも一因であるとされており、社会的な要因も考慮する必要があるだろう。
- 8 死者数が発表されたのは5月12日分からであり、5月11日以前の「それ以前」の数値には死者数は含まれていない。5月11日以前には死者数を正確に把握できていなかった可能性もある。7月15日現在の累計死者数は74人となっているが、実際にはこれよりも死者が多かった可能性は否定できない。
- 9 また、医薬品も不足しているようで、5月17日付の韓国『聯合ニュース』は、北朝鮮の高麗航空の飛行機3機が瀋陽空港に到着し、医薬品を積んで北朝鮮に戻ったことを伝えている。この程度の輸送量であれば、アセトアミノフェンやイブプロフェンといった解熱剤を数億錠持ち帰ることができたはずであり、とりあえず平壤市内を中心に国内で基本的な医薬品を供給するめどは立ったものと考えられる。
- 10 「『偉大なわが国家の限りない繁栄のために』朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第7回会議で行なった金正恩同志の施政演説」『労働新聞』2022年9月9日付。
- 11 すでに実用化されている不活化ワクチンとしては中国のシノバックやシノファームのものがある。日本では、KMバイオロジクス株式会社が開発を行っている。
- 12 「朝中親善の象徴－大安親善ガラス工場」『朝鮮新報』2007年7月18日付。 <https://eigyou.korea-np.co.jp/j-2007/04/0704j0718-00001.htm>（最終アクセス2023年3月1日）

